

学童期の読み聞かせは、本に親しむだけでなく、人の話を聞く力が備わりコミュニケーション能力を育てるといわれています。道後小には2つの「読み聞かせ」があることをご存じですか？「学校教育部主催の朝の読み聞かせ」と「図書クラブによる昼の読み聞かせ」です。今回はこの2つの読み聞かせ活動についてご紹介します。



## 朝の読み聞かせ

学校教育部

11月26日・27日・29日

各教室

登校間もない朝8時すぎ、読み聞かせボランティアのお母さんの声が、各教室から聞こえてきます。学校教育部主催の「朝の読み聞かせ」です。通常は月に1回ですが、毎年11月は『秋の読書週間』として1週間程度読み聞かせを行っており、ボランティアのお母さんの他に、地元のまちづくり団体「お伽座」による語りもあります。

道後小にお孫さんがいらっしゃる、お伽座・大亀さんの語り。。

優しく温かい伊予弁で、終始にこやかにみんなの顔を見ながら『坊主にされた男の話』『伊予の松山名物・名所』の2つのお話をしてくださいました。子どもたちも熱心に聞き入っていました。大亀さんは「子ども自身にも語り部になってもらいたいな」という思いを持っていらっしゃいます。

鹿児島では実際、子ども自身が熱心な語り部となっている姿を見て、嬉しく思われたとのことでした。

道後小PTAのホームページの「読み聞かせ」をクリックすると、各クラスで読まれた本のタイトルが分かります。ご家庭の本選びの参考にされてはいかがでしょうか？



### ～学校教育部より～

読み聞かせボランティア、随時募集中！！  
まずは見学から♪

## 昼の読み聞かせ

図書クラブ

11月5日

図書室



「図書室でお話が聞けますよ～」「昼休みに本を読みます♪」

給食を終えた低学年の子どもたちに、プラカードやぬいぐるみを持った図書クラブの方がにぎやかに呼びかけます。その声に誘われて、子どもたちが図書室まで「昼の読み聞かせ」を聞きにやってきます。

この日は、アラン・メッツ『はなくそ』（インパクト大でみんな興味津々）、五味太郎『まどからおくりもの』（クリスマスが楽しみになる大型絵本)、工藤直子『はくしゅ』（詩集「のはらうた わっはっは」より）の3本仕立て。35名を超える子どもたちが集まり、お話の面白さと絶妙な語りぐいぐい引き込まれていきました。途中驚きや感嘆の声が上がったりと大盛況で、最後は朗読した詩のプリントを、欲しい子にプレゼントして解散…と、とても素敵なおはなしの会でした。

「図書クラブ」は本の大好きな保護者が集まったPTAクラブで、現在部員は14名。低学年の児童を対象にした読み聞かせを、月に1～2回実施しています。

## 専門部から活動報告

### 厚生共育部より

☆第2回 ペルマーク仕分け・集計 11月20日 図書室

～～お世話になりました～～

今回ペルマーク・カートリッジの量が多かったのですが、2年生・6年生・転入生保護者の皆さんで、スムーズに作業が進み、無事に終わることができました。ありがとうございました。

